

一般質問

宮本
議員

○ふるさと納税の増大策について

質 ふるさと納税は、平成27年から令和元年の5年間で約34億円の寄附額があり、当市にとって貴重な財源です。返礼品は寄附額の3割以下という総務省の通達以降、寄附額が減少しているとのことですが、通達後もふるさと納税額が伸びている自治体もあります。当市のふるさと納税寄附額が落ち込まないようにする工夫はどのような対策を講じていますか。

政策企画課長

本市においては、大都市圏（関東・関西・中京）からの寄附が8割を占めている状況です。これらの大都市圏に本市の産品を知っていただくためには、インターネットサイトでのPRが効果的であると考えています。このため、主力となる返礼品（トラフグ、クロマゲロ、クルマエビ等）の生産から加工までの現場のこだわりやストーリー性を持たせた広告を作成して、PRを強化しています。また、関東、関西、福岡市などのイベントに積極的に参加し、本市の魅力を発信しています。**質** 松浦の特徴を生かした鮮魚の返礼品をふるさと納税サイトのメニューに載せることを提案しますが、水

産課とふるさと納税推進室とが一緒になって取り組んでいただきたいと思いますが、いかがですか。

政策企画課長

鮮魚発送の条件として、衛生管理等のハードルがあると認識していますが、他自治体が鮮魚を出荷しているという実績があり、そういった取組をしようという市内の業者もあると聞いていますので、今後、水産関係事業者に引き続き働きかけていきたいと考えています。

○養殖産業の復活再生について

質 養殖産業の衰退に伴って、星鹿半島の漁村も鷹島の漁村も衰退しているという因果関係にあると思っています。そこで、漁業者が生産する水産物の価格対策等に力を入れれば、漁村も活気が出ると考えます。国は養殖産業を成長化産業にしたいと取り組んでいます。当市でも「松浦市養殖産業復活再生推進協議会（仮称）」を設置されて、養殖産業の復活再生に取り組んでいく提案をしたいと存じますが、いかがですか。

市長

養殖産業は本市の基幹産業であり、水産産業を支える大きな柱であると認識しております。まずは、養殖業の消費拡大や知名度向上などの取組についてトップセールスを行うとともに、国や県の水産施策と協調しながら、本市の養殖漁業の振興に積極的に取り組みたいと思います。

一般質問

武部
議員

○福島診療所の薬品購入の経過について（再質問）

質 薬品購入に関し、地方自治法施行令第167条の2の規定に該当せず、違法を認められました。しかし、第三者委員会による検証は必要ないとされました。私は同じ過ちを犯さないため、検証を行い、再発防止策を作る必要があると思う。「信なくば立たず」と言いますが、検証の結果が市民の皆様の信頼を得るため、第三者委員会に委ねるべきだと思うが、いかがか。

副市長 今は複数の業者の見積り競争により単価契約をしている状況です。どこに問題があったのか分からないければ検証の仕方もあるかと思いますが、問題点はつきりしており、そこが是正されているので、現時点で、第三者委員会の設置は必要ないと思っています。

質 前々所長からの手紙の中に「市長が交代し方針が変わるかもしれない」と思い、新市長に手紙を書きましたが、結論は同じだった。この結論に私は失望し、退職を通知した。とあります。違法行為が判明した今、謝罪をされるべきだと思うが、いかがか。

副市長 12月議会ですの見解を変更したことについては、率直に申し訳なかったと謝罪させていただきました。と思います。前々所長につきましては、問題提起についてできる限りの調査、我々がやるべきことはやって報告させていただいております。

○松浦市の障害者支援について

質 松浦市で暮らされている障害のある皆様の現状と、これからの支援策は。

福祉事務所長

国が示した制度に従い、障害者福祉サービスや福祉医療費の支給、障害者の医療費の補助に取り組んでいきたいと思っています。**質** 65歳未満の介護支援制度に該当しない障害者の支援は。

福祉事務所長

在宅介護支援として①居宅介護②重度訪問介護③同行支援④行動支援⑤重度障害者等包括支援⑥訪問入浴サービスという6種類のサービスがあります。

質 （仮称）市民総合福祉プラザに障害者とその保護者が集える部屋はあるか。

福祉事務所長

福祉団体が利用できる部屋を設置する予定です。

質 病院、福祉センター、市の行政が一体となった福祉行政、支援のために心療内科、各種福祉専門職の確保をお願いしたいと思うが、いかがか。

健康ほけん課長

現在の予定では心療内科は診療科目にありませんが、市民の要望が大きいものは、病院に要望したいと考えます。